

グルマーイ・チッドヴィラーサーナダの教え

取り戻す、新たに命名する、改めて考える ...

ヴェーダーンタには、なくしたと思っていた首飾りを見つけようとあらゆる所をくまなく捜し回った女性の有名な話があります。彼女はかなりの時間をかけて捜しました——が、実際には、ネックレスはなくなってなどいませんでした！ それはずっと、彼女の首に掛かっていたのです。

同様に、至高なる自己は決して失われません。しかし探究者は、自分の宇宙のあらゆる場所で、それを探して、探して、探し続けます。マーヤー、すなわち幻想は、頑強であると思われます。まるで、最も暗く、最も閉ざされた建物に閉じ込められ、ドアも見当たらないかのようです——この自ら招いた苦しみ、縛られたままでいようと自分自身と交わした合意から逃れる手段はないかのようです。ヴェーダーンタには、この苦境を説明する別の物語があります。それは部屋に閉じ込められ、外に出ようとしている盲目の男の話です。しかし、ドアに近づいた時に、彼は突然のかゆみに気を取られ、自由になる機会を逃してしまいます。

サーダナーにおいてもそうです。人生においてもそうです。人々が抱く隠れた疑念、自分が作り出す物語、凡庸さに縛られたままでいるための言い訳、「私にはできない」という凝り固まった思い込み、感覚的な快楽を満足させたいという欲求——これらの私たちが認識する限界はすべて、自ら実現させてしまう予言となります。それらは進歩を妨げます。光が輝いて見えるためには、何かが道を譲らなくてはなりません。

自然界では、取り戻すプロセスは絶えず起こっています。人類がこの惑星の大地や水域を手中に収めるためにしてきたすべてのことに対して、地球は自らに属するものを取り戻すことを繰り返し証明してきました。どんなにその記録がかすかであっても、どんなにその歴史が古くても、地球には記憶があります。同様に、探究者が生来の完全さをもう一度持ちたいと願うのは自然

なことです。彼らは、自分の中にはブラフマンがあり、大いなる自己の光は自分に属しているという確信に突き動かされます。

多くの場合、新たに命名することで何かを取り戻すことができます。それは、あなたがいつも持っているものを新しい目で、新鮮な視点で見ることを可能にします。1978年に、シュリー・グルデーヴ・アーシュラムが「グルデーヴ・シッダ・ピートゥ」と改名された時のことを覚えています。当初、私たちは皆、非常に疑問を持ちました。なぜアーシュラムの名前が変わったのか、と混乱を招きました。しかし、「グルデーヴ・シッダ・ピートゥ」の本当の意味が分かれば分かるほど、この名前はそれ自体が目覚めとなっていきました。アーシュラムが何を意味するのか、この神聖な土地は何であったのか、そして何であるのかを、私たちは深く理解するようになりました。私たちは、自分たちがいるのがどのような場所なのかをより深く認識するようになりました。ここがシッダ・ピートゥ、すなわち私たちのグルであるバーバ・ムクターナンダのシャクティも含め、すべてのシッダたちのシャクティを保持している場所であると考えて驚嘆しました。

何かがあまりにも慣れ親しんだものになると、それが当たり前だと思ってしまい、その価値を見失いがちになります。だからこそ、無数の伝統の偉大な存在たちが体験してきた神性に由来する名前がこれほど多くあることが、私たちにとって有益なのです。人々はそれぞれが、さまざまな名前で神を呼ぶことに引きつけられます。同じ探究者が、人生の異なる時点で神に異なる名前を使うことに引きつけられることさえあります。

新たに命名するというこのような行為に取り組むことは非常に有益です。それはあなたを、好奇心と警戒心を持ち、自分自身の本質に戻ることに力を注ぐように保ちます。それは、あなたがずっと所有してきたものに、ある種の新鮮さをもたらします。あなたにとってのこの長年の宝物の価値は高まります。あなたの考えにおけるその有用性はより大きく、高く評価しやすくなります。

さて、これらすべてに着手し、多大な努力をした後、あなたは自分自身の大いなる自己について新たな光の中で理解するに至ったことを、どのように明確に表しますか？ その輝かしい神聖さの体験をどのように表現しますか？ これは、既に存在する言葉に特別な意味や、強力な意味合いや連想はないと言っているのではありません。そうです、あなたには美しくて広大な語彙(ごい)があります。しかし、あなたが長い間知っていたものとの間に築きつつあるこの新しい関係——これまでもずっと目の前にあったものとの間に、あなたが今、感じている特別な親密さや親近感——を、正当に評価する言葉を見つけることは、まったく別のことです。

あなたはどのような言葉を使いますか？ ペンからどのようなイメージがあふれ出ますか？ 事実の正確さと詳細をどのように描写に取り入れますか？ そしてそこから、学んだことを生かして何をしますか？ 自分の神性が魅惑的な光を放っていることに気づいた時、どのようにして内なる批判者を寄せ付けず、ひるまずにいられますか？ あなたはどのようにして、自分の大いなる自己の最新の体験の崇高さを歌い——そして歌い続けますか？

～グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ



© 2024 SYDA Foundation®. 著作権所有。